

二〇一三年度卒業論文・修士論文題目一覧

〈卒業論文〉

- 石塚陽一朗 高等学校における「話すこと」の学習指導の研究
 〓教科書の分析を中心に〓 (高木)
- 木村 琴美 小川洋子「葉指の標本」論 ―なぜ「わたし」は葉指を「標本」にしなければならなかったのか― (一柳)
- 飯島 隼人 〓目的別に選べる〓マルチ画面動画を使った能の教材研究 (三宅)
- 井上 研二 丸尾末広『パノラマ島綺譚』考 ―絵画が描き出す「パノラマ島」という楽園― (一柳)
- 井上 遼 江戸川乱歩『一寸法師』論 ―「都市空間」と探偵― (一柳)
- 大内 彩香 中学校国語科における〈対話〉に関する研究 (高木)
- 小野寺里香 国語科におけるインクルーシブ教育の推進への一考察 (高木)
- 数野 慶 一読総合法に関する研究 ―中学国語科における可能性の検討― (高木)
- 小林 夏希 『太陽の塔』論 ―再生の物語へ― (一柳)
- 佐野 聡美 辻村深月『凍りのくじら』論 ―テキストに「ドラえもん」は必要か― (一柳)

- 須田優風香 故事成語研究 ―「渾沌・混沌」― (三宅)
- 高橋 大樹 低学年児童に対する書くことの指導のあり方についての研究 〓書くことが苦手な児童を対象に〓 (高木)
- 西本はる華 樋口一葉「たけくらべ」論 ―歌が導く読み― (一柳)
- 彦坂ひかる 小野小町研究 ―実像と虚像の間― (三宅)
- 日比野晃一 細田守『おおかみこどもの雨と雪』論 ―「秘密」をめぐる物語― (一柳)
- 松本有紀子 村上春樹『羊をめぐる冒険』論 ―「僕」の新たな自己形成へ向けて (一柳)
- 安川奈々恵 外国につながる子どもたちに対するノート指導の実際とノート活用について (青山)
- 横内あゆみ 『源氏物語』研究 ―女三宮をめぐる男たち― (三宅)
- 横山 夏紀 国語科検定教科書 道徳の副読本における小川未明の作品についての研究 〓二度と取らない旅人〓を通して (府川)
- 吉野 敬祐 鑑賞における感動のメカニズムと書の鑑賞活動について (青山)

上田樹里亜 「キラキラネーム」の判断基準とこれからの名前の

あり方 (河野)

江藤 洋輔 J-POP流行歌の歌詞中の「当て字」について

(金澤)

小島 若緒 方言における印象の違いについての一考察

(河野)

崔 基祚 外来語表記におけるカタカナ「ヴ」の使用について

(金澤)

〈修士論文〉

小柳美智江 批判的思考力を育てる中学校国語科の授業

(高木)

登丸 昌子 余暇に繋がる「書写教育」の構築に関する考察

(青山)

藤森 香子 日本語教師の成長プロセスに関する一考察

(河野)

井本 宏美 多文化背景の子どもと家庭への就学初期における

支援 ―学校と地域の協働の現場から経験年数

別インタビュー調査から― (橋本)

康 悠仙 1960～80年代の朝鮮学校「国語」教科書

研究 ―分断される在日朝鮮人のことば―

(府川)

鈴木麻美子 日本語学校に在籍する留学生の未来の捉え方

―時間的展望とキャリアデザイン― (河野)

太原 徹雄 ノンネイティブ日本語教師支援の問題とその改善

に関する考察 ―インドネシア北スラウェシ州

における調査から― (河野)

義経伝説の研究

長島 裕太 ―人型造形における笛の役割― (三宅)

深沢 恵子 児童の「説明する力」を育成する授業の研究

―相互関係に根ざす説明活動とおして―

(高木)

本多 宏美 JSL児童はオノマトペの何に困難を感じるのか？

―国語教科書のオノマトペを中心に― (橋本)

村松 佑紀 アニメを活用した日本語授業の実践 (河野)

矢野和歌子 引用に着目した人文社会学系優秀卒業論文の分析

―卒業論文作成支援における引用の効果的指導

をめざして (河野)

吉田 美香 日本語習得環境による発話の特徴の違い

―自然習得の発話の特徴を中心に― (河野)

安 欣欣 中級以上の中国人日本語学習者における「対のある

自他動詞」の習得状況 (金澤)

李 政珉 コーパスから見る日本語の「という」の使用状況に

ついて (金澤)

陳 夢夏 中国人日本語学習者における未習漢字語の意味推

測に関する一考察について (河野)